

23. 特色ある議会施設・運営の事例

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
北海道	室蘭市	B	インターネットを通じての議会本会議のライブ中継及び終了分の録画放送の実施。ライブ中継中には、市民操作型カメラ1台を開放し、市民による遠隔操作を可能としている
北海道	夕張市	A	議会施設を体験型観光のメニューとして対応している
北海道	深川市	A	会議録の作成にあたり、平成18年から会議録作成支援(音声認識)システムを導入することを決定した(平成17年は本システムを試行し、平成18年より本格稼働するもの)
北海道	富良野市	A	平成13年から年1回、議場において尺八とギター演奏、女声合唱、弦楽器演奏、大正琴演奏、尺八と琴などの議場コンサートを開催し、市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指している
北海道	登別市	B	平成17年5月の委員の改選期から、4常任委員会を3常任委員会にした
青森県	青森市	E	新青森市 平成17年第1回定例会より、インターネットを利用した本会議のライブ中継を開始 旧青森市 平成11年第3回定例会より、ケーブルテレビでの本会議中継を開始。平成7年より予算特別委員会の質疑時間に会派持ち時間制を導入。平成4年より一般質問の所要時間について時間制限を導入(再々質問と答弁で60分以内)
青森県	つがる市	A	予算決算審議について ・新設合併により議会議員の在任特例を適用(平成17年12月31日現在70名)しており、在任特例期間中の6月、9月各定例会の予算特別委員会は18名(全員1/4)をもって構成、また、3月、12月各定例会の予算決算特別委員会については、36名(全員1/2)からなる委員会を設置して付託された議案を審議している ・旧町村の各会計決算に限り、予算決算特別委員会における質疑の事前通告制を導入した
岩手県	一関市	C	一般質問の時間枠を厳守するため、議場に電光時刻表示装置を置いた(平成17年12月定例会) 傍聴の際、難聴者にヘッドホンの貸出
宮城県	栗原市	B	一般質問は対面方式により、質問者は全て一般質問席で行っている 傍聴者に議員と同じ資料(一般質問要旨)を配布している 議会だより発行においての企画・編集については、広報編集調査特別委員会委員が自ら行っている
福島県	会津若松市	C	合併に伴い、旧町村役場ロビーに、本会議の様子を伝えるための議会中継システムを導入した(12月定例会から開始) 現在、「(仮称)会津若松市議会政治倫理条例」を制定するべく、政治倫理条例検討委員会を設置した(平成17年12月26日設置)
茨城県	取手市	C	「ひびきメール」というメールマガジンを発行している。内容は、開会前に会期日程、一般質問通告を、会期中は当日の審議結果を配信している。講読者数は現在約300人となっている。また、同内容を「ひびきFAX」としてFAXで送信している。講読者数は現在15名

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
栃木県	宇都宮市	F	議場に窓がある ジャズの街づくりの一環として6月定例会の開会日に議場にてジャズコンサートを開催している(平成17年度はゴスペル クワイヤによるコンサートを開催した)
栃木県	栃木市	B	対面式の質問席、撮影用カメラの設置(ケーブルテレビで放送) 一般質問、質疑での一問一答方式の実施 再質問回数を無制限(一般質問) 議員全員協議会の有効活用(議会選出委員等の会議結果及び常任委員会先進地視察等の報告) 請願陳情受け付け締切りの弾力化
群馬県	前橋市	E	議場コンサートの開催(毎年、第4回定例会の初日と最終日の開会前に開催している) 委員会の原則公開 議長発言次第等の平易化
埼玉県	草加市	D	本会議の全日程をインターネットを通じてライブ中継している 施政方針に対する代表質疑、議案質疑及び一般質問においては、録画放送もあわせて行っている 議場に、演壇とは別に質問席及び答弁席を対面式で設置し、活発な議論がなされている 一問一答式を採用することにより、市民にわかりやすい議会運営に努めている
千葉県	習志野市	C	一般質問における一問一答制を、昭和54年3月より実施している
千葉県	四街道市	B	インターネット配信による議会本会議のライブ・録画中継
千葉県	柏市	E	一般質問と議案質疑を合わせて行う「総括質問」制を合併後の定例会(17年6月)から導入
東京都	千代田区	A	投票システム 千代田区議会は、開かれた区議会を目指し、これまでも公開性や透明性を高めるため、情報公開条例や政務調査研究費の交付に関する条例を議会独自で制定してきました。この投票システムは、本会議における議員の賛否の結果を明らかにすることなど、公開性を高めるとともに、議員の政治的責任をより明確にするものです。そこで、千代田区議会では、平成14年第3回定例区議会から投票システムを導入しました。このシステムは、これまでの起立採決に替わるもので、区長提出の議案、請願・陳情、議員提出議案等の採決に採用し、本会議場における議員の賛否を電光表示するもので、議員一人一人の賛成・反対が瞬時に表示されるものです 送付陳情制度 千代田区議会では、提出された陳情の審査・調査を迅速に行うために、区議会独自に「送付陳情制度」を取り入れています。提出された陳情をすべて受け入れ、議長が議会運営委員会で意見を聴き、送付する委員会を決定します。送付を受けた委員会は、定例区議会の開会中、閉会中を問わず陳情書の審査・調査を行う制度です。委員会において結論が出た場合は、その審査・調査結果を議長に報告するとともに、陳情を提出された方にもその内容等をお知らせします
東京都	墨田区	D	本会議場、委員会室を区が主催する会議等に使用する場合に貸し出しをしている(一定条件あり)

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
東京都	大田区	G	毎年、終戦記念日(8月15日)に、区議会議員全員参加による「平和記念コンサート」を実施し、その収益金を対人地雷廃絶に取り組むNPO(区内事務所)に贈り、恒久平和に向けた取り組みを行っている
東京都	八王子市	G	議場コンサートを各定例会初日に実施している
東京都	調布市	D	議場内に出席議員数及び発言残時間を表示するモニター(42インチ)を3ヶ所設置。また、一般質問時には残時間をブザー音で周知するよう改修を行った
東京都	羽村市	B	<p>常任委員会行政視察報告会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:平成17年11月26日(土)午後1時30分～午後4時30分 ・会場:羽村市コミュニティセンター ・発表:各常任委員会委員 ・聴衆:羽村市理事者、職員、附属機関委員、町内会長、その他一般市民 ・発表方法:パワーポイント
神奈川県	横須賀市	F	<p>一般所管事項の実施</p> <p>本市議会の委員会審査は、議案審査、請願・陳情審査、法廷・一般報告の後に、所管に関する事なら通告なし、一問一答、時間制限なしで質問ができる時間を設けている。(いわゆる本会議の一般質問と同様なものであり、本会議での一般質問は原則として市長に対し、政策的な判断を求める事項に限るとして、部局長の段階で答弁が可能な事項は、常任委員会で行っている)</p>
神奈川県	鎌倉市	C	<p>陳情の審査においては、請願と同様の審査をしている</p> <p>常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の委員会会議録を本会議録と同様に全文筆記で作成している</p> <p>2月定例会では、現年度関係議案と新年度関係議案とを別々の日程で審議している</p>
神奈川県	海老名市	C	傍聴席に大型モニターを設置し、目の前で議員、理事者が発言しているように見える
新潟県	魚沼市	A	6町村による合併後、在任特例期間中の多議員数への対応のため、議場をワンフロアーにし、会議用折りたたみテーブル1台を2議員が使用している。平成17年7月3日の選挙で議員定数26人となった今も、そのままの簡素な議場で議会を開催している。議員席、執行部席及び傍聴席すべてワンフロアーで、議場と廊下の段差もなく、まさにバリアフリーの議場となっている
富山県	黒部市	A	<p>ケーブルテレビによる定例会本会議の放映</p> <p>一般質問の要旨や議会だよりといった情報を迅速にホームページに掲載</p>
石川県	羽咋市	A	インターネット放映(本会議、常任委員会)
石川県	白山市	C	<p>手話通訳の配置</p> <p>ケーブルテレビによる議会放映</p>
福井県	敦賀市	B	市内加入率98%のケーブルテレビ回線を活用した本会議の独自の生放送(会期中の再放送含む)

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
長野県	岡谷市	B	<p>会議における服装について 夏季期間中、品位を保つ服装であれば、上着・ネクタイの着脱は自由とした(平成 17 年 7 月)</p> <p>一般質問の方法(形式) 現行の一括質問一括答弁と一問一答方式の併用方式とした。これに先立ち、議員が市長はじめ理事者に対して質問することを明確にするため、議場に質問席を設置し、対面式とした(平成 17 年 9 月)</p>
長野県	飯田市	C	<p>自治基本条例制定への取り組み 平成 15 年 5 月に政策立案型議会への転換を図るため「議会議案検討委員会」を設置したのに続き、平成 16 年 5 月 20 日には、「市民がまちづくりをしやすいように条例を制定し、行政が市民の視点に立った運営を行っているかをチェックする責務が議会にはある」との考えから、飯田市議会は、全国で初めてといわれる議会による市民会議を設置した。市民・議会・行政が同じテーブルにつき、14 回にわたって活発な議論を行い、その結果、市民会議から「中間報告書」及び「最終答申書」の提出を頂いた。その後は議会が責任を持って市長部局との詳細な調整を行い、条文案の作成・市民周知などの必要な手続きを経た後に条例案の提出を目指すこととした。しかし、市民主体の自治の推進を図ることが条例の基本であり、十分な市民周知と意見の聴き取りが必要であることから、なおいっそうの時間をかける必要があるとの判断に至り、当初目標としていた平成 17 年 3 月議会への条例案の提出を断念することとした。飯田市議会は平成 17 年 4 月に改選を迎えることから取り組みは一旦終了したが、市民会議の方々のご努力に報いるためにも、飯田市自治基本条例の制定に向けた取り組みを、なんとしても次の議会にも引き継いでいくことが必要であると考え、その後 5 月の臨時会において「自治基本条例特別委員会」を設置することとし、市民会議の成果を十分尊重しながら、飯田市自治基本条例の制定に、議会として引き続いて取り組むこととし、条文素案の検討を行ってきた。</p> <p>度重なる特別委員会を開催して条文素案の検討を行ってきており、9 月末には「特別委員会の条文素案」をまとめ、全議員による検討会を開催した。こうした中で、10 月 24 日から 11 月 23 日にかけて開催した市政懇談会で自治基本条例についての説明を市内全 20 地区で行った。このような地区説明会は、飯田市議会としては初めての試みであり、司会進行から内容説明、質問への答弁まで議員みずから行った。議員みずからが説明し、議場とは違った立場で出席者からの質問に答えるということは、大変緊張した反面、貴重な経験となった。また、多くの市民の皆さんに飯田市議会の取り組みについてご理解をいただいたことも大きな成果であった。市政懇談会終了後、出された意見や全議員による検討会での意見等を参考にして、「特別委員会の条文素案」について繰り返し検討を重ねた結果、12 月 19 日の全議員による検討会において、現段階の条文素案をもって「市議会の条文素案」としてとりまとめることの決議が行われ、この決議により、今後は「市議会の条文素案」をもとに、1 月下旬に「議会だより臨時号」を発行して全戸に配布し、それを踏まえて、2 月 16 日から 3 月 2 日にかけて市内全 20 地区で自治基本条例の地区説明会を開催した。今後は以上の経緯の中で出された市民の意見を参考にしながら、条文原案としてまとめ、その後パブリックコメントやシンポジウムを行う中で条例案としてまとめ、18 年 9 月に上程、可決したいと考えている</p>

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
長野県	須坂市	B	<p>委員会審査において、傍聴者の利便性確保のため、審査順序を変更し優先的に審査をしている</p> <p>各種審議会等への委員就任を制限していることから、月初めにその月に開催される審議会等の日程を全議員に通知している</p> <p>常任委員会、特別委員会が実施した行政視察の報告会を、9月定例会中の土曜日に開催した</p> <p>定数、報酬、議会改革等に関する市民との懇談会を実施した</p>
長野県	千曲市	B	<p>平成16年12月定例会より、一般質問(個人質問)において一問一答・対面方式を導入した。これに伴い、傍聴者からも質問者(議員)の表情が見えるように、議場内に遠隔操作可能なカメラとモニターを2台設置した</p> <p>定例会(本会議・委員会)はケーブルテレビ((株)信州ケーブルテレビジョン)の協力により生中継及び再放送を行っていただいている。(昭和57年～)</p> <p>千曲市ホームページに、市議会のしくみ、議員の紹介、議会の日程、議会だより、会議録検索システムを掲載している(平成15年9月～)</p>
岐阜県	瑞浪市	A	<p>市政一般質問について</p> <p>平成17年9月議会(3月、6月議会試行)より、対面式一問一答方式で実施することを議会運営委員会において決定した</p> <p>質問方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通告標題の要旨ごとに一問一答方式とする ・質問者は、正面演壇が質問席を選択し、(正面演壇においては、質問者は市政一般を述べるのみ)登壇する。ただし、質問に入る場合は、質問席に移動して行う ・答弁者は、自席で答弁する ・質問時間は、答弁を含めて60分以内。質問回数は、無制限。従来は、演壇にて議員及び傍聴席に向かって一括質問。再質問は自席にて行っている。質問時間は答弁含まず40分。対面式質問席にするため、議員席を一部改良
岐阜県	可児市	C	議会先例集・申し合わせ集の作成
岐阜県	山県市	A	本会議の開会前に、議場において、山県市民憲章の唱和を行っている
静岡県	沼津市	D	<p>会議録作成支援システムの充実</p> <p>平成16年6月定例会より稼働させた「会議録作成支援システム(議員席や当局席に設置したマイクの音声を認識し、同時にパソコン上で文字化するシステム)」について、辞書機能の拡充など、さらなる精度の向上をはかり、本会議及び委員会会議録作成における反訳時間の短縮など、事務の効率化に努めた</p>
静岡県	三島市	C	本会議の開議時間を、午後1時としている
静岡県	掛川市	C	<p>円形議場</p> <p>政策議会</p>
静岡県	御殿場市	B	平成17年4月より、議長車にETCを導入した
静岡県	袋井市	B	インターネットによる本会議ライブ中継及び録画映像配信
愛知県	名古屋市	H	本会議場において、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏会を実施(年1回 平成17年2月開催)

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
愛知県	半田市	C	法令に定める特別委員会などを設置せず、議運において議会の了承を得た上で、議長の特命により各会派から1名ずつが参加し、副議長を座長として、本市におけるごみ処理状況の悪化を改善するために「ごみ環境改善プロジェクト」と名づけ、要綱を設けた上で設置した。この活動では、通常の委員による委員会活動のみならず、議員が市内各種団体に出向き、意見交換を行ったり、ごみ収集の体験、改善策の一助として研修会を開催したりするなどバラエティかつ、フレキシブルな活動を行うことで、市民への議会議員の活動への理解と、ごみに対する意識高揚を進めることができた。この結果、新年度からごみ収集体制の改善を図ることができる予定となった
愛知県	豊田市	F	一般質問における一問一答方式及び対面式の導入に伴い、議員の質問席を設置
愛知県	日進市	B	議会広報特別委員会を設置し、議員自らの手で原稿作成、写真撮影、校正、編集などを行い、議会広報誌を年4回発行している
三重県	亀山市	A	議場内前後に液晶テレビ(45型)を設置し、モニターしている
滋賀県	彦根市	C	車椅子用傍聴席、聴覚障害者用磁気誘導無線装置、障害者用トイレの設置により傍聴しやすい環境づくりに努めている
滋賀県	高島市	B	庁内LANによる議会生中継(主要管理職)、議会事務局内への音声送信 庁内LANを活用して各支所(5箇所)、図書館、公民館(一部)で施政方針、一般質問を生中継 議会ホームページ上で一般質問を録画放映 身障者向けに議会広報(録音、点字)を作成し、希望者に配布 夏場における本会議でのノー上着(クールビズ)の実施 防災行政無線放送を利用して本会議の開催案内を実施
滋賀県	米原市	A	施設 ・議場内にケーブルテレビ放送用カメラを設置し、本会議一般質問を生中継している ・本会議初日および最終日の状況については、市の行政放送にてスポット放送を行う 運営 ・議員一般質問において、一問一答方式を導入している ・3月定例会においては、会派による代表質問を取り入れている ・議会だよりは、議会広報対策特別委員会を中心とし、議員自身の手により作成している
京都府	宇治市	C	閉会中においても、常任委員会を活発に開催している。行政報告を受けることを中心に、月1回程度の開催を申し合わせている すべての委員会、全員協議会の全文記録を作成し、図書館等に配布している すべての会議に提出された資料を公開している。会議の事前から行政情報コーナーに資料を配置し、有料でコピー可能としている すべての会議を公開し、日程ごとに定員を設けている 政務調査費について、使途基準を申し合わせ、領収書の添付を義務付けている 決算審査について、特別委員会を設置し、7日の会期を取り、詳細に審査している 補正予算を本会議直接審議としている

都道府県名	市名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
京都府	城陽市	B	18年第1回定例会から議員等配布用会議録をCD-ROM化とする(原本等、必要部数は冊子で保存している)
京都府	八幡市	B	定例会開会前、又は休憩中に議場ミニコンサートを実施した(平成17年第1回・第4回定例会)
大阪府	大阪市	H	(平成17年度)夏休み親子議場見学会 ・8月3日(水)・4日(木)計2回 ・各日50名(2日間で100名) 公募により募集(申込多数の場合は抽選) ・対象:市内在住・在学の小学3～6年生の児童とその保護者 ・内容:市会本会議場や委員会室など市会構内の案内と模擬本会議や模擬委員会を交えながら、市会の役割やしぐみなどについて説明を行う ・参加者:2日間 129人
大阪府	堺市	H	平成16年4月より新庁舎の議場が円形型で傍聴席に親子室を設置している
大阪府	大東市	C	議場コンサート(3月13日 管楽器、12月19日 アイリッシュハープ) 議場講演(9月22日)各15分程度 質問席の設置(一般質問・一問一答方式の2回目以降質問時に使用、平成17年3月～)
大阪府	交野市	B	これまで、議員の出退表示については、事務局内に1箇所、議長室に1箇所、会派控室周辺に2箇所の電光表示板が設置されていた。このため理事者が、〇〇議員が来庁しているかどうかを知る術は議会事務局に電話で問い合わせを行わなければならなかった。しかし、庁内LANに議員の出退表示を明記することにより、職員に配備されているパソコンを利用して、議員の出退確認が容易に可能となった
兵庫県	尼崎市	F	身体障害者対策として、議員席から演壇にスロープを設置し、段差を解消するとともに、演壇を電動で昇降可能とし、車椅子等にも対応できるようにしている
兵庫県	芦屋市	B	請願提出者による口頭陳述の実施
兵庫県	伊丹市	C	議場コンサート 平成13年第1回定例会から、毎年第1回定例会の初日に議場コンサートを実施している
兵庫県	小野市	B	議員用パソコンへ毎日関連新聞記事を掲載 議員所有の携帯電話へ毎日「メール書簡」を配信(本日の行事、主な新聞記事など)
奈良県	生駒市	C	市役所五階の議事堂ロビーをギャラリーとして開放し、絵画を常時展示している
島根県	松江市	C	傍聴席に車椅子対応のリフトが設置されている 一問一答方式用の対面式演壇が設置されている
岡山県	井原市	A	円形議場(対面式)
広島県	廿日市市	C	平成17年12月定例会から、一般質問における再質問を一問一答形式に変更。再質問において大項目1問ごとに行い、1項目につき2回まで。(発言時間については、答弁を含む60分とした事項については変更しない。) 議会先例集・事例集を作成し、これに基づいて議会運営事例集を議会運営委員会で検討し、運営をスムーズに行うことに努めている

都道府 県名	市名	人口 段階	特色ある議会施設・運営の事例
香川県	丸亀市	C	平成 17 年 3 月定例会より、議員席側に演壇を設置し、代表質問・一般質問等を執行部と対面してできるようになった 本会議はケーブルテレビを導入し生放送をしているが、合併した旧綾歌町・飯山町ではケーブルテレビが見られない。そのため、録画したテープを、二町の市民総合センター 1F ロビーで翌々日に放映している(テープの貸出しはしていない)
愛媛県	松山市	G	質問議員と理事者に対する「対面式質問形式」を平成 17 年 3 月定例会から導入。その際、質問議員の顔が傍聴席にも見えるよう、議場の正面にスクリーンを設置し、プロジェクターにより写し出している 平成 17 年 9 月定例会から、質問議員は、告示日前日午後 5 時までに議長まで会派内の質問順序も合わせて報告することとし、ホームページ、新聞等に掲載することとした
福岡県	福岡市	H	乳幼児同伴で議会を傍聴できるように、本会議場に防音が施された特別傍聴席(5 席)を設置している
福岡県	久留米市	E	インターネットによる本会議のライブ中継の実施 在任特例により議員数が 94 名となったため、市庁舎横の商工会館の大ホールを議場として使用 合併に伴い、代表質問を廃止し、個人質問のみとした
福岡県	筑紫野市	B	平成 16 年 4 月から情報公開条例の実施機関に議会が参入したことに伴い、委員会会議録を逐語記録により作成している。委託業者は速記者の資格を有する社員を派遣し、レコーダー(カセットテープ、IC)、マイク、ミキサー等を設置し、録音するとともに、発言者の名前や発言内容など一部速記を交えながら進行管理表を作成し、録音を補完している。委員会終了後 2 日～7 日後に委員会会議録の粗原稿を納品させ、委員長報告の参考資料として利用している
福岡県	うきは市	A	議会広報広聴委員会 ・特別委員会ではなく条例により設置 ・議員のみでの議会広報作成、発行
佐賀県	佐賀市	D	議員質問席 議席の最前列中央部に質問席を設置し、一般質問の際に使用 一般質問は総括・一問一答の選択制で、共に 1 回目は演壇で、再質問以降は一問一答の場合質問席、総括の場合演壇と質問席の選択になっている(全て事前申告)
長崎県	佐世保市	D	一般質問(個人質問)における一問一答方式導入 平成 14 年 9 月定例会より、一般質問(個人質問)の一問一答方式(1 回目の質問は一括方式の選択制)を導入したが、平成 17 年 12 月定例会から、より議会の活性化を図るため、一問一答方式(1 回目の質問は一括、2 回目以降は一問一答)、一問一答方式(1 回目の質問より一問一答)、一括質問の選択制を実施した
熊本県	八代市	C	地域イントラネット及びインターネットによる本会議・委員会の生中継及び本会議の録画放映
熊本県	人吉市	A	平成 17 年 6 月議会から、一般質問と議案質疑(3 月定例会のみ)に対面方式を取り入れ、議場に質問席と答弁席を設置した
熊本県	玉名市	B	モニターテレビによる本会議放映(庁舎設置のテレビによる生中継) テープレコーダーによる委員会(常任委員会、議会運営委員会、特別委員会)の全文記録

都道府 県名	市名	人口 段階	特色ある議会施設・運営の事例
熊本県	上天草市	A	6月定例議会から9月定例議会までの間、委員会でのクールビズ(ノーネクタイ)を導入
大分県	中津市	B	合併前の町村の役場である各支所での常任委員会の開催 本庁舎並びに各支所における議会中継の放映
大分県	宇佐市	B	移動常任委員会の開催 4常任委員会のうち2常任委員会を旧2町で開催
宮崎県	都城市	C	ケーブルテレビによる議会中継と同時に、議場内に設置した5台のモニターテレビを議員、執行部、傍聴人が視聴できるよう整備した。(平成17年12月定例会から)
沖縄県	浦添市	C	議場内に、難聴者のための磁気ループを設置
沖縄県	豊見城市	B	省エネ対策として、かりゆしウエア(クールビズ)の通年着用を可とした